

環境調査結果のお知らせ

令和4年7月21日午前に野見湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は水温が22.4～27.2℃、塩分が30.1～34.2、溶存酸素量が5.7～7.2mg/Lでした。

湾内の透明度は5.5～9.0mでした。

検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で1 cell/mL、シャットネラ属が最高で1 cell/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所又は水産試験場までご連絡ください。

水温と塩分(表1・2)

水温は22.4～27.2℃、塩分は30.1～34.2でした。

前回調査時(R4.7.1)と比較して、水温は表層で0.1℃低下し、2m層から底層では0.5～1.0℃上昇しました。塩分は表層から10m層で0.4～2.6低下し、底層では前回と同様の値を示しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は5.7～7.2mg/Lでした。

前回調査時と比較して、溶存酸素量は表層から10m層で0.3～1.0mg/L減少し、底層で0.3mg/L増加しました。

プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は5.5～9.0mでした。

検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で1 cell/mL、シャットネラ属が最高で1 cell/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

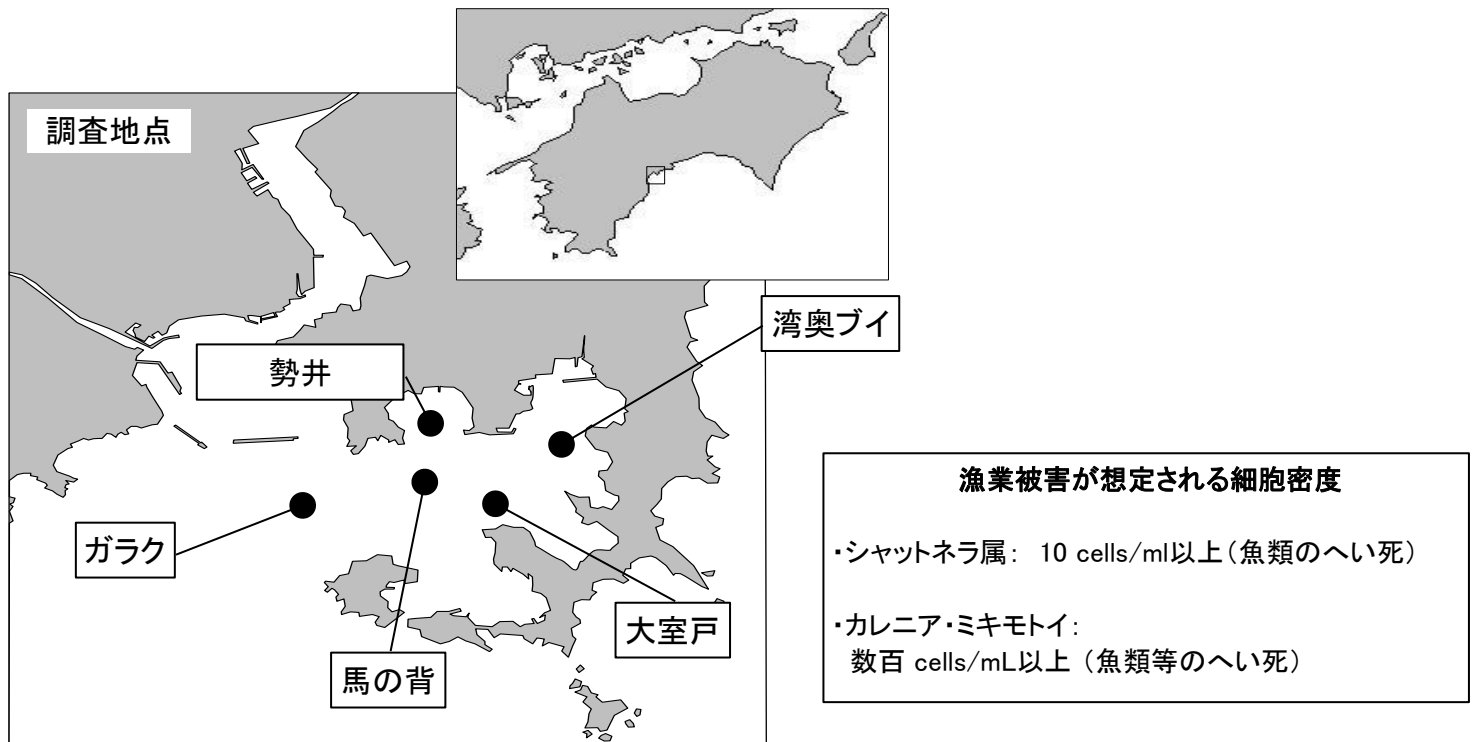


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R4.7.1)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	26.8	27.2	26.9	27.0	26.8	26.9	27.0	▲ 0.1
2m	26.8	27.0	26.7	26.8	26.7	26.8	26.2	0.6
5m	26.4	26.2	25.6	26.2	26.4	26.1	25.2	0.9
10m	25.3	24.9	24.1	24.9	24.9	24.8	23.8	1.0
B-1m	24.1	22.8	23.2	22.7	22.4	23.0	22.5	0.5

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R4.7.1)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	30.6	30.2	30.5	30.1	30.8	30.5	33.1	▲ 2.6
2m	30.8	30.7	30.6	30.5	31.0	30.7	33.2	▲ 2.5
5m	31.8	32.0	32.7	31.8	31.8	32.0	33.4	▲ 1.4
10m	33.1	33.4	33.8	33.4	33.4	33.4	33.8	▲ 0.4
B-1m	33.8	34.1	34.1	34.2	34.2	34.1	34.1	0.0

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R4.7.1)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	7.2	6.9	6.8	6.8	6.7	6.9	7.2	▲ 0.3
2m	7.1	6.7	6.7	6.7	6.6	6.7	7.2	▲ 0.5
5m	6.6	6.3	6.1	5.8	6.4	6.2	7.2	▲ 1.0
10m	5.8	5.8	6.7	6.0	5.7	6.0	6.7	▲ 0.7
B-1m	5.8	6.5	7.0	6.3	6.3	6.4	6.1	0.3

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜
水深	15.7	20.5	15.6	21.3	19.1
透明度	5.5	6.0	9.0	8.0	6.5
前回(7/1)	4.5	4.8	6.8	6.0	6.0

表5 プランクトン(cells/mL)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	190
	2m	0	0	100
	5m	0	0	11
大室戸	0m	0	0	270
	2m	0	0	260
	5m	0	1	120
馬の背	0m	0	0	150
	2m	1	1	60
	5m	0	0	19
勢井	0m	0	0	340
	2m	0	0	140
	5m	0	1	12
ガラク	0m	0	0	220
	2m	1	0	240
	5m	0	0	24